

白帯くっきりトンボ コシアキトンボ

初夏から夏にかけて、細身で白帯をきりりと締めたような黒いトンボが池の上をせわしなく飛び回ります。縄張りのパトロールをしているコシアキトンボのオスです。大きさは4～5cmぐらい。全身ほぼ真っ黒で、顔の真ん中と腰の部分が真っ白です。腰が透けて空いているように見えるので、漢字で書くと「腰空蜻蛉」。また、白い部分が暗闇でも明るく見えるので「腰明蜻蛉」とも書きます。縄張りをもったオスが別のオスと出会うとにらみ合い、激しいバトルをして急上昇するなどの面白い行動が見られます。

メスの帯の色は黄色です。メスは、木陰にとまって休んでいたり、水辺から離れた木々の間のチョットした隙間を移動したりするだけなのであまり見る事ができません。

陶史の森にはたくさんの湿地帯があり、小川も流れています。春から秋にかけて多くの種類のトンボに出会うことができますが、生育環境の変化や乱獲によって数が減ってしまうことが心配です。園内は自然環境保護地域で、動植物（昆虫や魚も含む）の採集は禁止されています。撮っていいものは写真だけ。豊かな自然をみんなで大切に守っていきましょう。



白帯のオス



黄色帯のメス



森の日記 / 5月28日(日)  
鳴き声を頼りに  
青葉が茂る季節となり、冬鳥から夏鳥へ入れ替わる野鳥を観察しました。森を歩きながら鳴き声に耳を傾け、立ち止まって木々の中に隠れている野鳥の姿を探しました。ウグイス、メジロ、ソウシチョウ、サンショウウガイ、コゲラ、シジュウカラなど合計21種類の野鳥を確認できました。  
野外での観察の後は、鳥の鳴き方や習性などの情報交換をして、参加者同士の交流を深めました。

教室のご案内

バードウォッチング (要申込 / 定員10人 / 雨天中止)

7月

7月23日(日) 午前9時～11時  
夏の野鳥を観察します。

8月

8月27日(日) 午前9時～11時  
夏の野鳥を観察します。

陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。

8月

川の生き物教室

(要申込 / 定員10人)

8月6日(日) 午前9時～11時30分  
川の生き物の観察と飼育方法を学びます。水に濡れてもよい服装で参加してください。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。